

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、ご遺族の方にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	婦人科がん患者における終末期の現状		
1. 研究の目的と方法	近年、婦人科がんでは治療薬の選択肢が広がり、生存できる確率が上昇する一方で、再発・転移部位により様々な終末期を迎えています。婦人科がん患者さんが終末期にどのような部位に再発し、緩和的な治療を必要としていたのか、婦人科がんの種類別（卵巣癌・子宮体癌・子宮頸癌）に過去に行われた診療をさかのぼって調査し、婦人科がんの終末期の現状についてまとめます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関： <input checked="" type="checkbox"/> 附属病院 <input checked="" type="checkbox"/> 葛飾医療センター <input checked="" type="checkbox"/> 第三病院 <input checked="" type="checkbox"/> 柏病院 対象となる方：上記研究機関で婦人科がん終末期医療を行い、2017年10月1日から2021年12月31日の間に死亡された卵巣癌（卵管癌・腹膜癌を含む）、子宮頸癌、子宮体癌の患者さんを対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	患者情報（死亡時年齢、初診時年齢、診断名、組織型、ステージなど）、治療内容と転帰（初回治療日、初回再発・再燃日、最終化学療法投与日、死亡日、死亡場所など）、緩和治療の内容（医療用麻薬の開始日、死亡前の医療用麻薬量、死亡前ステロイド量、再発・再燃後放射線治療の有無、腹水穿刺の有無など）、CT画像より最終病変部位を抽出	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	岡本愛光
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて		この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2021年10月頃～
<b>【問い合わせ先】</b>		<p>機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座  研究責任者：教授 岡本 愛光（おかもと あいこう）  窓口担当者：助教 下舞 和貴子（しもまい わきこ）  電話番号：03-5400-1272（直通）  対応時間：平日9：00 ～ 16：00</p> <p>各附属病院の窓口担当者  附属病院本院：松田 祐奈（まつだ ゆうな） 電話：03-5400-1272（直通）  葛飾医療センター：小山 奈那子（こやま ななこ） 電話：03-3603-2111（内線：5910）  第三病院：加藤 さや子（かとう さやこ） 電話：03-3480-1151（内線：3710）  柏病院：金 里阿（きん りあ） 電話：04-7164-1111（内線2183）</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。